

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 日本出版貿易株式会社
 コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 庵之下 博文

(氏名) 岩崎 哲明

TEL 03-3292-3751

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,205	3.3	△5	—	△28	—	△92	—
23年3月期第2四半期	3,103	△4.0	40	—	19	—	△375	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △36百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△13.28	—
23年3月期第2四半期	△53.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	5,123	632	12.3	90.60
23年3月期	6,087	669	11.0	95.87

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 632百万円 23年3月期 669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,830	1.1	156	3.3	120	29.0	70	—	10.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	7,000,000 株	23年3月期	7,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	21,540 株	23年3月期	21,460 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,978,471 株	23年3月期2Q	6,978,540 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年3月期の連結業績予想は、「平成23年3月期 決算短信」(平成23年5月16日付)において公表した数値より変更してありません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や電力不足等の影響で企業活動が停滞し、円高の進行と米国経済の回復の遅れや欧州における金融不安等も相俟って、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは洋書事業、メディア事業の輸入部門の売上拡大を図りました。メディア事業の売上はK-ポップの追い風もあり順調でしたが、洋書事業は原発事故の風評被害等もあり外人居住者・旅行者が激減し、予算を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32億5百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。営業損失は5百万円（前年同四半期の営業利益4千万円）、経常損失2千8百万円（前年同四半期の経常利益1千9百万円）となりました。四半期純損失は投資有価証券評価損5千4百万円の計上を行った結果9千2百万円（前年同四半期の四半期純損失3億7千5百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は以下のとおりであります。

(出版物・雑貨輸出事業)

円高の進行と米国の景気後退、欧州の金融不安により低調に推移いたしました。経費削減で受注が伸び悩んでいた海外大学図書館、研究機関は、新年度予算の執行が始まり受注も順調に回復してきております。また経済産業省が進めている「Cool Japan戦略」の一環として第12回Japan Expo（パリ）、第2回Hyper Japan（ロンドン）に出展し、引き続き日本商品の市場拡大に寄与しております。

その結果、当部門の売上高は9億2千2百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益は1千8百万円（前年同四半期比48.7%減）となりました。

(洋書事業)

東日本大震災、原発事故等の影響で外国人居住者の帰国、留学生・旅行者の減少により、販売が落ち込みました。またBooks ON Japan（日本紹介書）の中心であった講談社インターナショナル社の廃業が書店向けの書籍売上減少に拍車をかけました。しかしながら大学・高校生向けの秋季洋書教科書販売は堅調に推移いたしました。

その結果、当部門の売上高は8億8千万円（前年同四半期比10.1%減）、営業損失は8千9百万円（前年同四半期の営業損失5千4百万円）となりました。

(メディア事業)

K-ポップ関連商品が牽引し堅調に推移いたしました。弊社独占契約のジャズレーベルやクラシックレーベルも安定的な売上構築に寄与いたしました。またヘッドフォンやスマートフォン関連の音響関連商品、雑貨商品も既存ルートの他ネット販売ルートにも安定的に供給できる体制が整い業績を押し上げる要因となりました。

その結果、当部門の売上高は12億7千9百万円（前年同四半期比22.1%増）、営業利益は8千4百万円（前年同四半期比33.7%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

日貿ビル2階テナントが8月に退去しました結果、当部門の売上高は7千5百万円（前年同四半期比15.8%減）、営業利益は3千3百万円（前年同四半期比25.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9億6千3百万円減少し、51億2千3百万円となりました。

これは主に流動資産で現金及び預金が6千2百万円、受取手形及び売掛金が7億7千6百万円、商品が6千3百万円減少し、固定資産で投資有価証券が1千1百万円減少したことによるものであります。

大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が減少し、また春季販売の収束後在庫調整を図ったことにより商品が減少しております。また当第2四半期連結会計期間末での時価評価に基づく減損処理等で投資有価証券が減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9億2千7百万円減少し、44億9千1百万円となりました。

これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が9億2千6百万円減少したことによるものであります。

支払手形及び買掛金の減少は受取手形及び売掛金で記載した大学等への英語教科書の仕入代金の支払いによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3千6百万円減少し、6億3千2百万円となりました。

これは四半期純損失9千2百万円を計上したものの投資有価証券の減損処理を実施したことによりその他有価証

券評価差額金が2千8百万円変動したこと及びヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引の時価評価により繰延ヘッジ損益が2千4百万円変動したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末より1.3ポイント増加し12.3%となりました。

キャッシュフローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、6千1百万円減少し8億7千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は8千7百万円（前年同四半期は9千4百万円の資金の減少）となりました。

これは主に売上債権が7億7千3百万円減少した一方、仕入債務が9億2千6百万円減少し、前受金が8千1百万円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は2千万円（前年同四半期は3百万円の資金の減少）となりました。

これは主に投資有価証券の売却による収入が2千4百万円、無形固定資産の取得に3百万円支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は950千円（前年同四半期は3億4千3百万円の資金の減少）となりました。

これは主に短期借入金の返済が4千5百万円（純減）実行されましたが、資金の安定化を図るため長期借入6千6百万円（純増）を行ったことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成23年11月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお通期の業績予想につきましては変更ありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	928,177	866,019
受取手形及び売掛金	2,012,363	1,235,928
有価証券	53,779	13,699
商品及び製品	977,679	913,771
原材料及び貯蔵品	80	31
繰延税金資産	26,828	26,941
その他	102,282	99,392
貸倒引当金	△3,058	△2,497
流動資産合計	4,098,133	3,153,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	317,143	307,521
土地	1,178,600	1,178,600
リース資産（純額）	22,483	24,545
その他（純額）	13,078	11,288
有形固定資産合計	1,531,305	1,521,954
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	324,564	312,699
長期貸付金	7,182	5,612
繰延税金資産	65,654	65,650
その他	53,260	60,010
貸倒引当金	△36,037	△36,875
投資その他の資産合計	414,624	407,096
固定資産合計	1,989,455	1,970,660
繰延資産		
社債発行費	209	—
繰延資産合計	209	—
資産合計	6,087,798	5,123,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,559,286	632,443
短期借入金	2,289,685	2,300,145
1年内償還予定の社債	17,500	—
リース債務	5,645	7,005
未払法人税等	9,615	7,077
前受金	305,754	386,814
賞与引当金	16,332	16,118
デリバティブ債務	44,833	21,280
返品調整引当金	42,542	30,482
その他	180,822	150,091
流動負債合計	4,472,017	3,551,458
固定負債		
長期借入金	280,925	292,415
リース債務	17,765	18,271
退職給付引当金	161,318	147,557
再評価に係る繰延税金負債	424,259	424,259
その他	62,413	57,732
固定負債合計	946,681	940,236
負債合計	5,418,699	4,491,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	△395,943	△488,621
自己株式	△5,332	△5,345
株主資本合計	224,513	131,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△65,342	△37,233
繰延ヘッジ損益	△45,060	△20,155
土地再評価差額金	618,402	618,402
為替換算調整勘定	△63,415	△60,583
その他の包括利益累計額合計	444,584	500,430
純資産合計	669,098	632,253
負債純資産合計	6,087,798	5,123,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,103,353	3,205,261
売上原価	2,446,961	2,584,014
売上総利益	656,391	621,246
返品調整引当金戻入額	54,676	49,890
返品調整引当金繰入額	28,963	37,830
差引売上総利益	682,104	633,306
販売費及び一般管理費	642,005	638,699
営業利益又は営業損失(△)	40,099	△5,392
営業外収益		
受取配当金	6,672	6,822
違約金収入	7,171	—
その他	2,429	1,021
営業外収益合計	16,274	7,843
営業外費用		
支払利息	21,725	18,672
為替差損	9,824	11,251
有価証券運用損	4,693	673
その他	554	324
営業外費用合計	36,797	30,922
経常利益又は経常損失(△)	19,576	△28,471
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,035	—
固定資産売却益	365	246
特別利益合計	4,400	246
特別損失		
投資有価証券売却損	—	162
投資有価証券評価損	396,242	54,268
固定資産除却損	5	—
その他	56	8,002
特別損失合計	396,303	62,434
税金等調整前四半期純損失(△)	△372,326	△90,659
法人税等	2,848	2,018
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△375,175	△92,677
四半期純損失(△)	△375,175	△92,677

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△375,175	△92,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	262,374	28,109
繰延ヘッジ損益	△9,104	24,905
為替換算調整勘定	△15,366	2,831
その他の包括利益合計	237,903	55,846
四半期包括利益	△137,271	△36,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137,271	△36,831
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△372,326	△90,659
減価償却費	24,959	22,918
投資有価証券評価損益 (△は益)	396,242	54,268
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,766	276
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,857	△214
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,662	△13,760
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△25,713	△12,060
受取利息及び受取配当金	△6,693	△6,852
支払利息	21,725	18,672
為替差損益 (△は益)	△2,416	△2,952
有価証券運用損益 (△は益)	4,693	673
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	162
有形固定資産売却損益 (△は益)	△365	△246
固定資産除却損	5	—
売上債権の増減額 (△は増加)	803,105	773,282
たな卸資産の増減額 (△は増加)	74,775	65,752
仕入債務の増減額 (△は減少)	△842,584	△926,995
前受金の増減額 (△は減少)	△79,007	81,033
その他	△78,058	△32,797
小計	△77,231	△69,497
利息及び配当金の受取額	6,693	6,853
利息の支払額	△21,189	△18,791
法人税等の支払額	△3,175	△5,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	△94,902	△87,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△1,839	△305
投資有価証券の売却による収入	—	24,227
有形固定資産の取得による支出	△818	△988
無形固定資産の取得による支出	△3,860	△3,844
有形固定資産の売却による収入	365	246
貸付けによる支出	△365	—
貸付金の回収による収入	1,996	1,370
その他	1,191	△251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,330	20,451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,250,000	2,000,000
短期借入金の返済による支出	△2,366,680	△2,045,030
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△208,400	△83,020
社債の償還による支出	△16,500	△17,500
リース債務の返済による支出	△2,038	△3,486
その他	—	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,618	950

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,919	4,573
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△446,770	△61,104
現金及び現金同等物の期首残高	991,495	940,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	544,724	879,086

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	751,851	979,693	1,047,661	89,379	2,868,585	234,767	3,103,353	—	3,103,353
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	220,813	—	—	—	220,813	10,916	231,730	△231,730	—
計	972,665	979,693	1,047,661	89,379	3,089,399	245,684	3,335,083	△231,730	3,103,353
セグメント 利益又は損 失(△)	36,386	△54,070	63,269	45,322	90,907	1,461	92,369	△52,269	40,099

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△52,269千円はセグメント間取引消去△7,424千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44,845千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	743,656	880,982	1,279,444	75,235	2,979,320	225,941	3,205,261	—	3,205,261
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	178,805	—	—	—	178,805	732	179,537	△179,537	—
計	922,462	880,982	1,279,444	75,235	3,158,125	226,673	3,384,798	△179,537	3,205,261
セグメント 利益又は損 失(△)	18,657	△89,585	84,622	33,904	47,599	△3,809	43,789	△49,181	△5,392

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△49,181千円はセグメント間取引消去△6,431千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42,750千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社

(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。